

第1回四万十市子ども・子育て検討会での意見交換内容（報告）

1 実施状況

日 時 令和元年12月18日（水） 18：30～20：25
場 所 市立中央公民館 1階大会議室
参加者 14団体26名

2 意見交換内容

（1）平成30年度の子ども子育て検討会の実施状況について

- ・3回開催した検討会の内容を報告【意見特になし】

（2）子育てに関するニーズ調査の結果について

- ・平成30年度に実施したニーズ調査の結果について報告

【主な意見】

① アンケートの結果、子育て環境や支援の満足度が5年前と変わっていないという説明であったが、自治体としてどのように捉えているのか。どこに理由があるのか。

⇒平均点2.76は5年前と一緒であった。今の若い子育て世代のニーズがまた新たな形で表れているのではないか。県外の取組みやインターネットなどから入る新しいサービスの情報などからニーズの多様化があるのではないかと考えている。

② 全ての質問で無回答が多いがどのように捉えているのか。前回と比較してどうか。

⇒回答忘れなのか、放棄しているのか判断できない。問30を見ると前回は5.5%が無回答、今回は4.0%程度で若干減っている状況ではある。なるべく多くの方に回答いただけるよう次回は検討したい。

（3）第2期計画策定の目的、第1期計画の実施状況について

- ・計画策定の目的、四万十市の状況及び計画期間などについて説明
- ・第1期計画の成果について報告

【主な意見】

① 子育て中の方に関わるなかで、四万十市で子育てして良かったと答える人が多い。保育はサービス事業ではなく福祉部門だと思っている。子育てする人の心の問題にも力を入れていくべき。ニーズに答えることはもちろんだが、ハード面だけでなく精神的なソフト面も支えてほしい。

⇒子育て応援団の皆さんには随分長い間若いお母さんや転勤してくる人の精神的な支えになっていただいている。経験した人に相談したいという人は多いと思うので、今後も引き続きお願いしたい。

(4) 第2期計画の概要について

- ・第2期計画に掲載する施策について説明。

【主な意見】

- ① 令和3年度から公立保育所で0歳の受け入れ増とある。0歳児の待機が10数名いると聞いているが、定員数と生後何カ月から受け入れるのか。
⇒0歳児の待機児童は昨年度3月末で17名、現在12月1日時点で16名となっている。3月になるともう少し増えると予想する。令和3年度に認定こども園が出来ることで0歳児の定員が増える。差し引いた待機児童の受け入れ体制を模索しているところ。民間の0才からの受け入れ施設はこれまで通りやっていただきたいし、待機児童対策としては年度途中からも何とか受け入れできるのではないかと考えている。人数的には10名程度になるのではないかと。施設整備も必要になるので、保育所長等に協議しているところ。公立でやるにしても、民間の様に看護師の配置は欲しいという意見があるので、配置が出来るかによって6又は9カ月からの受け入れを考えていくようになる。
- ② 子育てにやさしい施設の推進とある。文化複合施設の計画にあるキッズスペースが狭い。雨の日でも子どもが遊べるように広くスペースを取って欲しい。
⇒予定ではキッズスペースは25㎡位だと聞いている。子育て支援課としてももう少し広く確保できないかと話していきたいと思うが、様々な施設が一つになるので、観客席を増やせないかなど色々な話がある。意見は伝えていく。
- ③ 延長保育、一時預り事業の説明でニーズ量が現在の実績値を超えないという説明があったが、10月からの保育料無償化でニーズが変わってきている。今後の受け皿として公立保育所での延長保育、一時預りの実施など、具体的な方向性の事業計画として作った方が良いのではないかと。
⇒確かに一時預り事業や延長保育は大事である。延長保育の希望時間は朝7時ごろから夜19時までのニーズがあった。人員配置の問題もあり、職員組合と意見交換をしながら検討をしていきたい。今後5年間の中で検討するが、この計画に実施すると明記するのは難しい。また、一時預りについては、保育施設を利用していない子や他の保育所に通園する子どもを預かることになるので、受け入れに不安があるのではないと思う。そのような不安を払拭できる方法を検討していきたい。
- ④ 量販店の中にある「とことこ」のような子育て中の方の居場所づくりは大切だと思うが、計画の中でどこに書かれているのか。
⇒「とことこ」のような居場所を作るということは想定していないが、そういった取り組みをしたいという要望があった時に支援していく。補助制度も創設しており、上手く連携しながら民間団体、保護者の皆

さんと取り組んでいきたい。公的な部分では拠点施設の充実、増設も必要なのか協議はしていきたい。

- ⑤ 子ども食堂は2年間で3箇所移動した。定まった場所がなく、物が置けないことが困っている。色々な方から支援をいただいております、100名以上来ているが、経済的困難かというところでもない。子どもは無料で大人は300円であるが、前回子どもの残りを食べるので払わないということがあり困った。実際に貧困なのか外見では分からない。結局は300円を貰った。何か良い案があれば。

⇒次年度4月からは社協にも協力いただいてデイケアセンターが使えるようになる方向で検討を進めている。長期に使えるめどが立てば、食器なども置けるようになるのではないかと思います。経済的困難、困窮している人もいますので、何らかの支援、方法は探していきたい。

- ⑥ 兄弟児が多い家庭で下の子が入院して何か支援方法がないか探したことがある。ファミサポもショートステイも預けるのにお金がいる。本当に困っているところに使える支援がない。親戚も探したがおらず、今年も同様の状況になるかもしれない。

⇒困窮された方を支援する事業が社協にある。そういった方がいたら社協を紹介してほしい。

- ⑦ ファミサポの利用状況を教えて欲しい。

⇒利用したい保護者、子どもを預かってくれるボランティアが、それぞれ約30名程度。ただ、預かっても良い方の半分は孫の面倒や仕事などで実際には預かれない状況。7月からの利用実績は19件とまだまだ少ない。登録者の大半は直ぐには使わず、いざと言う時のためにお守ってもらえる人を確保しているという方が多い。来年4月以降、保育所などに周知を考えている。料金が高いという意見は受けている。1時間600円であるが、ひとり親や非課税世帯、生活保護世帯には半額の助成があるので、是非周知いただきたい。

⇒現時点では無料で利用出来る施策はない状況。特に四万十市は転勤の方が多く、緊急時に対応できるような体制が必要な場合もあると思う。所得に応じた料金設定など、全国的に良い情報があれば教えて欲しい。財政的な問題はあるが研究していきたい。

- ⑧ 子育てにやさしい施設の推進のところで、計画の理念として「大きく咲かそう子どもの笑顔」とある。人と触れ合い、自分が認められて自尊感情が育ち、コミュニケーションが取れるようになったり、子どもが笑顔になる。キッズスペースは乳幼児対象かもしれないが、小学生は夏休みなどにも体験が出来ていない状況である。小さい頃に皆と触れ合って子どもが成長する観点が施設を作る人にあるのか気になる。高齢の方との触れ合いも子どもなりに喜びになり、経験になる。そのような意味合いで子どもと触れ合う場所が大事だと思う。

- ⑨ 日常子どもたちが公園に集まるという話はよく聞く。集まれる場所が必要だと思う。特に雨の日に集まれる場所がない。小さい子どもを育てており、「とことこ」や「ぽっぽ」などが増え、コミュニケーションや情報がつながっていくということは大事だと思う。
- ⇒子どもや高齢の方の触れ合う場所という話があったが、子育てに力を入れるという部分では施設整備に子育てに配慮した視点は持っておいて欲しいし、推進室など担当課には伝えていく。スペースだけでなく、質の部分も検討してもらおう。確かに雨の日に遊べる場所は少ない。児童館では小学生が地域の高齢者と餅つきをして触れ合う機会を作ったりしている。今後様々な意見をもらいながら充実、改善していく。
- ⑩ 保護者の中には困ってファミサポを使いたい親もいるが、料金的な部分や自宅での活動などが理由で利用を躊躇している。もっと使いやすい状態にして欲しい。
- ⇒ファミサポも自宅の預かりはハードルが高い。公共施設や量販店のキッズスペース、トンボ公園もファミサポの預かりであれば学遊館は無料で使えるように話しており、キッズスペースも準備しているところ。併せて小学校にも周知を進めて、ボランティアの養成もしていきたいと考えている。
- ⑪ ファミサポについては、以前アンケートを取った際は使ってみたくてという意見が多かったと思うが、周知不足か躊躇しているのかは解らないが保護者が利用したという話をあまり聞かない。周知もして利用しやすいようにして欲しいと思う。
- ⑫ ファミサポを利用した人もいたが、時間超過すると料金が高めになり、使いにくいと聞いた。もう少しその辺りも利用しやすいようにして欲しいと思う。
- ⇒皆さんが利用しやすいものにしていきたいと思う。
- ⑬ いろんな面で困っている保護者に現場の先生は直面している。個人の力で何とかなるものだったら構わないのだが、その方がいなくなったら止まってしまう。自治体で困っている家庭の情報共有が出来ないものか。財政的な事もあるかもしれないが、病児保育、一時預りにしても一人の職員が困らないようなサポート体制作りが必要だと思う。
- ⇒確かに個人の対応で何とかしている部分がある。組織、制度、施策として何とかしていかないといけない。何に財政を投入していくかということでは、皆さんと意見交換しながら困っている家庭の情報共有の方法も検討させていただきたい